



[a:r]

1. アール (英語アルファベットの第18文字)
2. (米) 映画の準成人向き

ABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナーABCなら何でもありよこのコーナー

Read my lips/リードマイリップス…… よくお聞き

直訳すれば「唇を読め」。つまり、日本風に言えば「耳の穴**かつぼじつ**てよく聞けよ！」ってな感じでしょか。念を押して言っときますけどね！と、相手に伝えたいことを強調するニュアンスを込めています。もう少しスゴんでみたいワ、というあなたは I'm warning you 「**警告**しとくわ」を使うとヨシ。

- ・ Read my lips. She's mine, you get it?
(言っとくが、彼女はおれのものなのだ。わかるかね?)

Riff-raff/リフラフ …………… くだらない連中、人間のクズ

なんとまあ、こんなふうには呼ばれたとあっちゃ人間悲しい限りだ。でも事実、そんな名前では呼ばれてる男が出ていた映画があった。さて誰だ? 答えは大師所カルトムービー「**ロッキー・ホラー・ショー**」で♪Let's do the time warp agai~n♪と踊り狂っていた、奇オチチャード・オブライエン扮する**宇宙**から来た男「リフ・ラフ」でした。

- ・ Can you believe them? They're nothing but riff-ruff!
(あの連中、信じられる? まったくサイテーね!)

Rip off/リップオフ …………… ぼったくり

「いやっ このチャンネル、オヤジが本物やゆうたから買うたのに、よう見たら**パチモン**やないの!! なんやこれって、ぼったくりちゃうん!？」と、ドド怒りのお嬢さまがた。ショッピングと男選びは慎重に、カシコクいたしましよ。なのにそれでもトツボを踏んでしまった日にや、怒涛のごとくこう叫ぶべし。That store ripped me off! (あの店に**ボッタ**くられたぜよ〜!) rip offは「だまされる、法外な金を取る」の意味、です。

- ・ The jacket costs 80000yen!? What a big rip-off!
(そのジャケットが8万!? そりゃぼったくりだわ〜)

Rise and shine/ライズアンシャイン… 起床する

このフレーズはガラガラと言ってチャバツです。相手に**喝**を入れるつもりで使用すべし。「ほら、ピシッとせんかい**ピシッ**とお!」てな感じでどうぞ。

- ・ It's already 9:00 o'clock! Hey, rise'n shine!
(もう朝の9時だぜい! ほれ、起きろ〜!)

Roughly speaking/ラフリスピーキング …… おおざっぱに言えば

「ねえ、夏の旅行に幾らかかった?」「そうねえ〜、おおざっぱに言ったら20万ぐらいかな?」なんて言うときに使いたいのが roughly speaking の「おおざっぱに言う」と。しかし、いつもいつもおおざっぱにばっか言っていると**アバウト**な奴に見られてしまう! たまにはこれも使おう、Strictly speaking の「厳密に言う」と。それから、ホントのこと言っちゃおうかな〜というときにはこれ、Frankly speaking の「正直に言う」とが便利。そしてそして、「あのさ、ホントのこと言っちゃうけど、実は……」と、聞く者を**ビビらす**前置きフレーズならこちら、To tell the truth ね。

Rub ~ the wrong way …………… /ラブ〜ザロングウェイ 神経にさわる

He really rubs me the wrong way で「アイツほんま気にさわるやっちゃ」。rub はもともと「こする、摩擦する」の意味。某英会話学校のテレビCMで、英語を倍速モードで勉強した日本人女性が、外国人男性に I love you と囁くのがあったが、その love の発音が rub に聞こえると、在日外国人のあいたでは**バカ受け**だったらしい(それだと「私はあなたを**こすります**」という、とんでもない意味になっちゃうのだよ)。日本人が大の苦手とする L と R の発音は、恥をかかぬようキチンと練習しておくことをオススメね。

- ・ There's something about him that rubs me the wrong way.
(なんだかわかんないけど、彼って気に入らないのよね)

Redneck/レドゥネック 差別的偏見をもった者をさす言葉。



アメリカにはさまざまな人種差別があり、これを非難する考え方が主に軽蔑をこめてこう呼ぶことがある。北部の人間が南部の白人を差していることが多い。



by Kenny M.

エル・ドラド

〒606 京都市左京区下鴨北山宝ヶ池通上ル西側
Tel.075 (702) 2666